



【参考】

平成22年12月28日

平成23年2月期 第3四半期 業績説明資料

〔 自 平成22年3月 1日
至 平成22年11月30日 〕

J. フロント リテイリング株式会社

目 次

<u>I. J. フロント リテイリング 連結決算関係</u>	ページ
1. 連結経営成績	1
2. セグメント情報	1
3. 連結会社の状況	2
4. 販売費及び一般管理費の内訳	2
5. 営業外損益の内訳	3
6. 特別損益の内訳	3
<u>II. 大丸松坂屋百貨店 個別決算関係</u>	
1. 経営成績	4
2. 売上高の概要	
① 店別売上高	4
② 月別売上高対前年増減率推移	5
③ 商品別売上高及び粗利益率	5
3. 販売費及び一般管理費の内訳	5
4. 営業外損益の内訳	6
5. 特別損益の内訳	6

I. J. フロント リテイリング 連結決算関係

1. 連結経営成績

(単位:百万円、%)

項 目	当第3四半期 累計期間 (22.11)	前年第3四半期 累計期間 (21.11)	対前年	通期予想 (23.2)	
				金 額	対前年
1. 連結売上高	687,750	710,047	△3.1	958,000	△2.5
2. 連結販売費及び一般管理費	156,817	165,820	△5.4	211,000	△4.8
3. 連結営業利益	9,282	8,972	3.5	19,000	2.2
4. 連結売上高営業利益率	1.3%	1.3%	差 0.0%	2.0%	差 0.1%
5. 連結経常利益	10,208	10,119	0.9	19,400	△2.8
6. 連結売上高経常利益率	1.5%	1.4%	差 0.1%	2.0%	差 0.0%
7. 連結四半期(当期)純利益	4,749	2,300	106.4	9,700	18.8
8. 連結売上高四半期(当期)純利益率	0.7%	0.3%	差 0.4%	1.0%	差 0.2%

2. セグメント情報

(1) 当第3四半期累計期間(22.11)

(単位:百万円、%)

	百貨店業	スーパーマーケット業	卸売業	その他事業	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	530,724	85,510	35,468	36,047	687,750	—	687,750
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,248	2,874	4,612	28,892	38,628	(38,628)	—
売上高計	532,973	88,384	40,081	64,939	726,379	(38,628)	687,750
対前年増減率	△2.3	△3.9	△19.0	14.7	△2.3	—	△3.1
営業費用	526,753	87,855	38,520	62,360	715,489	(37,021)	678,468
営業利益	6,220	529	1,560	2,579	10,889	(1,607)	9,282
対前年増減率	21.1	△29.7	△31.7	66.6	12.0	—	3.5

(2) 前年第3四半期累計期間(21.11)

(単位:百万円)

	百貨店業	スーパーマーケット業	卸売業	その他事業	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	543,132	88,584	44,945	33,385	710,047	—	710,047
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,274	3,374	4,563	23,216	33,428	(33,428)	—
売上高計	545,406	91,959	49,508	56,601	743,476	(33,428)	710,047
営業費用	540,271	91,206	47,221	55,053	733,752	(32,677)	701,074
営業利益	5,135	753	2,286	1,548	9,723	(751)	8,972

3. 連結会社の状況

(単位:百万円)

	資本金	所有割合	事業の内容	当第3四半期累計期間(22.11)			
				売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
	百万円	%					
1. J. フロントリテイリング(株)	30,000			5,897	4,308	4,304	4,206
2. (株)大丸松坂屋百貨店	10,000	100.0	百貨店業	460,790	3,115	2,250	64
3. (株)博多大丸	3,037	69.9	百貨店業	47,251	1,787	1,545	852
4. (株)下関大丸	480	100.0	百貨店業	13,110	215	145	79
5. (株)高知大丸	300	100.0	百貨店業	10,624	132	163	64
6. (株)ピーコックストア	2,550	100.0	スーパーマーケット業	88,384	513	394	86
7. 大丸興業(株)	1,800	100.0	物品卸売業・輸出入業	40,081	1,560	1,580	903
8. (株)J. フロント建装	100	100.0	建装工事請負業	22,563	33	41	△30
9. JFRカード(株)	100	100.0	クレジット業	5,853	1,516	1,356	769
10. (株)大丸ホームショッピング	100	100.0	通信販売業	11,968	△106	△104	△64
11. (株)ディンプル	90	100.0	人材派遣業	6,859	363	360	205
12. (株)J. フロントフーズ	100	100.0	飲食店業	3,198	113	109	48
13. (株)大丸コム開発	50	100.0	不動産賃貸業・テナント業	663	104	105	61
14. (株)消費科学研究所	450	100.0	商品試験・品質管理業	734	55	56	31
15. (株)JFR情報センター	10	100.0	情報サービス業	5,409	195	203	122
16. (株)JFRオフィスサポート	100	100.0	事務処理業務受託業	1,648	115	197	112
17. (株)JFRサービス	100	100.0	リース業・駐車場管理業	4,839	251	254	142
18. (株)JFRコンサルティング	100	100.0	コンサルティング業	0	△11	△11	△11
19. (株)セントラルパークビル	100	85.7	駐車場業、不動産賃貸業	78	△3	△4	△11
20. (株)エンゼルパーク	400	49.8	駐車場業	822	448	486	296
21. (株)大丸松坂屋友の会	100	100.0	前払式特定取引業	1,097	△444	△50	△14
22. (株)マツザカヤ友の会	—	—	前払式特定取引業	483	△106	124	73
23. (株)今治大丸	300	100.0	(清算中)	—	—	—	—

- (注) 1. (株)松坂屋は平成22年3月1日付で(株)大丸を吸収合併しております。また同日をもって社名を(株)大丸松坂屋百貨店に変更しております。
2. (株)J. フロント建装は平成22年3月1日付で(株)DHJを吸収合併しております。
3. 平成22年9月1日付で(株)JFRコンサルティングを新規設立いたしました。
4. (株)大丸友の会は平成22年9月1日付で(株)マツザカヤ友の会を吸収合併しております。また同日をもって社名を(株)大丸松坂屋友の会に変更しております。

4. 販売費及び一般管理費の内訳

(単位:百万円、%)

内 訳	当第3四半期 累計期間(22.11)		前年第3四半期 累計期間(21.11)		増 減	
	金額	売上比率	金額	売上比率	金額	増減率
人件費	59,260	8.6	65,139	9.2	△5,879	△9.0
広告宣伝費	22,292	3.2	23,221	3.3	△929	△4.0
賃借料	18,334	2.7	19,640	2.8	△1,306	△6.6
作業費	11,184	1.6	11,640	1.6	△456	△3.9
減価償却費	9,894	1.4	9,359	1.3	535	5.7
包装配達費	5,278	0.8	5,292	0.7	△14	△0.3
その他	30,571	4.5	31,526	4.5	△955	△3.0
合計	156,817	22.8	165,820	23.4	△9,003	△5.4

5. 営業外損益の内訳

(単位：百万円)

内 訳	当第3四半期 累計期間(22.11)	前年第3四半期 累計期間(21.11)	増減額
	金 額	金 額	
営業外収益	5,269	5,724	△455
1. 受取利息・配当金	555	571	△16
2. 債務勘定整理益	2,410	2,372	38
3. 負ののれん償却額	1,738	1,744	△6
4. 持分法による投資利益	96	153	△57
5. その他	468	881	△413
営業外費用	4,343	4,577	△234
1. 支払利息	1,304	1,198	106
2. 固定資産除却損	145	111	34
3. 商品券等回収損失引当金繰入額	2,347	2,609	△262
4. その他	545	658	△113

6. 特別損益の内訳

(単位：百万円)

内 訳	当第3四半期 累計期間(22.11)	前年第3四半期 累計期間(21.11)	備 考
特別利益	2,191	1,295	
1. 固定資産売却益	455	240	主に大丸松坂屋百貨店 低・未利用不動産売却
2. 退店受入金	1,600	—	松坂屋名古屋駅店
3. 投資有価証券売却益	—	956	大丸・松坂屋投資有価証券売却
4. その他	136	98	当期 松坂屋名古屋駅店損失引当金戻入額
特別損失	4,844	7,694	
1. 固定資産処分損	2,075	510	主に大丸松坂屋百貨店 売場改装
2. 投資有価証券評価損	1,801	2,012	主に大丸松坂屋百貨店
3. たな卸資産評価損	—	665	棚卸資産会計基準の適用に伴う影響額
4. 減損損失	—	1,202	大丸浦和パルコ店等
5. 不動産取得関連費用	—	1,810	大丸心齋橋店北館等
6. 事業整理損	—	1,000	松坂屋岡崎店閉鎖
7. その他	966	493	主に大丸松坂屋百貨店 統合関連費用等

Ⅱ. 大丸松坂屋百貨店 個別決算関係

1. 経営成績

(単位:百万円、%)

項 目	当第3四半期 累計期間 (22.11)	前年第3四半期 累計期間 (21.11)	増 減	
			金 額	増減率
1. 売 上 高	460,790	470,915	△10,125	△2.2
2. 販売費及び一般管理費	110,726	116,536	△5,810	△5.0
3. 営業利益	3,115	2,322	793	34.1
4. 売上高営業利益率	0.7%	0.5%		差 0.2%
5. 経常利益	2,250	1,600	650	40.6
6. 売上高経常利益率	0.5%	0.3%		差 0.2%
7. 四半期純利益	64	△1,839	1,903	—
8. 売上高四半期純利益率	0.0%	△0.4%		差 0.4%

(注) 対前年増減額・増減率は、前年度の大丸及び松坂屋の業績を合算した数値との比較であります。

2. 売上高の概要

① 店別売上高

(単位:百万円、%)

店 別	期 別	当第3四半期累計期間 (22.11)		前年第3四半期累計期間 (21.11)		増 減	
		金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率
大 丸	大阪・心斎橋店	62,919	13.7%	51,926	11.0%	10,993	(16.5) 21.2%
	大阪・梅田店	26,658	5.8	39,343	8.4	△12,685	△32.2
	東京店	36,305	7.9	38,935	8.3	△2,630	(△3.3) △6.8
	ららぽーと横浜店	2,667	0.6	2,699	0.6	△32	△1.2
	浦和パルコ店	2,887	0.6	2,942	0.6	△55	△1.9
	京都店	49,595	10.8	50,638	10.8	△1,043	△2.1
	山科店	3,625	0.8	3,927	0.8	△302	△7.7
	神戸店	57,358	12.4	59,032	12.5	△1,674	△2.8
	新長田店	3,851	0.8	3,907	0.8	△56	△1.4
	須磨店	7,333	1.6	7,042	1.5	291	4.1
	芦屋店	5,603	1.2	5,728	1.2	△125	△2.2
	札幌店	38,828	8.4	36,238	7.7	2,590	7.1
	計	297,634	64.6	302,363	64.2	△4,729	(△1.8) △1.6
	松坂屋	名古屋店	78,577	17.1	79,816	17.0	△1,239
上野店		36,114	7.8	35,193	7.5	921	(△3.8) 2.6
静岡店		16,270	3.5	16,964	3.6	△694	△4.1
銀座店		9,291	2.0	10,402	2.2	△1,111	(△1.5) △10.7
高槻店		7,267	1.6	9,369	2.0	△2,102	(△0.1) △22.4
名古屋駅店		9,827	2.1	7,655	1.6	2,172	28.4
豊田店		5,807	1.3	5,707	1.2	100	1.7
岡崎店		—	—	3,441	0.7	△3,441	—
計	163,155	35.4	168,551	35.8	△5,396	(△2.8) △3.2	
合 計	460,790	100.0	470,915	100.0	△10,125	△2.2	
心斎橋店、梅田店、名古屋駅店、岡崎店を除く合計		361,384	78.4	368,548	78.3	△7,164	(△1.4) △1.9

(注) 1. 平成22年3月から、大阪法人外商は高槻店から大阪・心斎橋店へ移管、また、東京店の個人・法人外商及び銀座店の個人外商は上野店に移管しております。()内の数値は、前年を本年ベースに置き換えた数値と比較した増減率を記載しております。

2. 心斎橋店は平成21年11月に北館をオープンしております。

梅田店は増床工事により当第3四半期累計期間は売場面積が概ね47%縮小しております。

岡崎店は平成22年1月31日に、名古屋駅店は平成22年8月29日に営業終了いたしました。

② 月別売上高対前年増減率推移

(単位:%)

月 別	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月
全 社	△2.7	△2.2	0.8	△10.9 (△2.3)	5.7 (△2.0)	1.5

月 別	9 月	10 月	11 月	当第3四半期 累計期間
全 社	△6.0	△1.5	△4.7	△2.2

(注) 従来、お中元・お歳暮早期受注ギフトについては受注時に売上計上しておりましたが、前年歳暮期から当社グループの売上計上基準である「出荷基準」をより厳格に適用し、お中元については6月末までの受注分のうち7月出荷分、お歳暮については11月末までの受注分のうち12月出荷分をそれぞれ7月・12月に売上計上することといたしました。
() 内の数値は前年同月を本年ベースに置き換えた数値と比較した増減率であります。

③ 商品別売上高及び粗利益率

(単位:百万円、%)

商 品 別	当第3四半期 累計期間 (22.11)	対前年	構成比	前年構成比	粗利益率	対前年率差
衣 料 品	190,336	△1.0	41.3	40.8	28.43	△1.18
身 回 品	45,642	△4.5	9.9	10.2	29.08	△0.59
家 庭 用 品	23,948	△2.1	5.2	5.2	26.98	△1.02
食 料 品	111,407	△4.1	24.2	24.7	17.06	△0.11
雑 貨	50,655	△1.7	11.0	10.9	25.45	△0.55
そ の 他	38,800	0.2	8.4	8.2	21.32	1.07
合 計	460,790	△2.2	100.0	100.0	24.71	△0.53

3. 販売費及び一般管理費の内訳

(単位:百万円、%)

内 訳	当第3四半期 累計期間 (22.11)		前年第3四半期 累計期間 (21.11)		増 減	
	金 額	売上比率	金 額	売上比率	金 額	増減率
人 件 費	34,970	7.6	38,477	8.2	△3,507	△9.1
広 告 宣 伝 費 (内ポイント費)	13,846 (8,207)	3.0 (1.8)	15,088 (8,092)	3.2 (1.7)	△1,242 (115)	△8.2 (1.4)
賃 借 料	11,997	2.6	13,122	2.8	△1,125	△8.6
作 業 費	7,632	1.6	7,727	1.6	△95	△1.2
減 価 償 却 費	7,819	1.7	7,242	1.5	577	8.0
包 装 配 達 費	3,250	0.7	3,209	0.7	41	1.3
そ の 他	31,209	6.8	31,669	6.7	△460	△1.5
合 計	110,726	24.0	116,536	24.7	△5,810	△5.0

4. 営業外損益の内訳

(単位：百万円)

内 訳	当第3四半期 累計期間 (22.11)	前年第3四半期 累計期間 (21.11)	増減額
営業外収益	2,625	2,947	△322
1. 受取利息・配当金	738	769	△31
2. 債務勘定整理益	1,657	1,632	25
3. その他	229	545	△316
営業外費用	3,491	3,669	△178
1. 支払利息	1,467	1,372	95
2. 商品券等回収損失引当金繰入額	1,688	1,939	△251
3. その他	335	357	△22

5. 特別損益の内訳

(単位：百万円)

内 訳	当第3四半期 累計期間 (22.11)	前年第3四半期 累計期間 (21.11)	備 考
特別利益	3,178	1,665	
1. 固定資産売却益	1,442	235	低・未利用不動産等
2. 退店受入金	1,600	—	松坂屋名古屋駅店
3. 事業整理損失引当金戻入額	136	—	松坂屋名古屋駅店
4. 投資有価証券売却益	—	1,290	株式22銘柄
5. 関係会社整理益	—	139	常磐商会清算分配金
特別損失	5,243	6,603	
1. 固定資産処分損	2,405	864	売場改装等
2. 投資有価証券評価損	1,983	1,079	当期 株式11銘柄 前期 株式6銘柄
3. たな卸資産評価損	—	506	棚卸資産会計基準の適用に伴う影響額
4. 減損損失	—	849	大丸浦和パルコ店等
5. 不動産取得関連費用	—	1,810	大丸心齋橋店北館等
6. 事業整理損	—	1,000	松坂屋岡崎店閉鎖
7. その他	854	492	統合関連費用等